

平成29年度 第1回 大阪府立かわち野高等学校 学校協議会議事録

日時：平成29年7月7日（金） 15時30分～16時50分

場所：アクティブラーニングルーム

1、参加者

委員 5名

事務局 本校職員 12名

2、報告

- ・学校の現状

3、協議

<平成29年度学校経営計画について>

- ・部活動について、外部コーチの活用や顧問の配置の現状はどうか。
→外部コーチを活用しているクラブはあり（野球部と茶道部）、顧問の配置は複数人体制にしている。
- ・生徒一人ひとりを大切にする指導・教育が重要。
- ・3年間を見通した教育計画のあり方について、抽象的になっていることをできるだけ系統立てて具体化させることが重要である。
→各学年の活動計画の視覚化をすすめている。
- ・中退者、中退しそうな生徒へのフォローについて、どのように取り組んでいるか。
→「厳しさの中に温かさをもった生徒指導」の方針のもと、生徒・保護者と何度も懇談や家庭訪問を繰り返し、対話を続けて一緒に考える。指導により、退学者は減少している。単に退学ということではなく、通信制など自らの道を選んでいる。
- ・普通科総合選択制から専門コース設置の普通科への変更に伴う教員配置への影響は？
→平成31年度末までには、普通科総合選択制加配分は減員となる予定。
- ・生徒の職業観の育成について育んでほしい。
→仕事について考える機会に、生徒をチャレンジさせる。

<委員からの意見・提言等>

- ・教員間で会話（コミュニケーション）の充実を。
- ・学区撤廃で、学校を取り巻く環境は大きく変わった。
- ・どんどんよい学校になってきていると思う。面倒見のよさ、きめ細やかさがかわち野のよさ。
- ・退学率の低さも驚異的と思う。先生方のご苦労によるもの。

- ・ 今後、大きな組織再編が課題になると思う。
- ・ 保護者としても、生徒が生き生きとできるようにしたい。日常、接触できる機会は少ないが、PTAネットワークを築きサポートし合いながら取り組んでいく。
- ・ 今は過渡期。ピンチをチャンスに。まずは、先生方が元気であること。先生方同士の交流も大切。若い先生とも十分にコミュニケーションを取るように。
- ・ お金のかからない外部（地域）の力をどんどん借りてほしい。

4、事務連絡

第2回協議会：11月下旬から12月の予定で調整